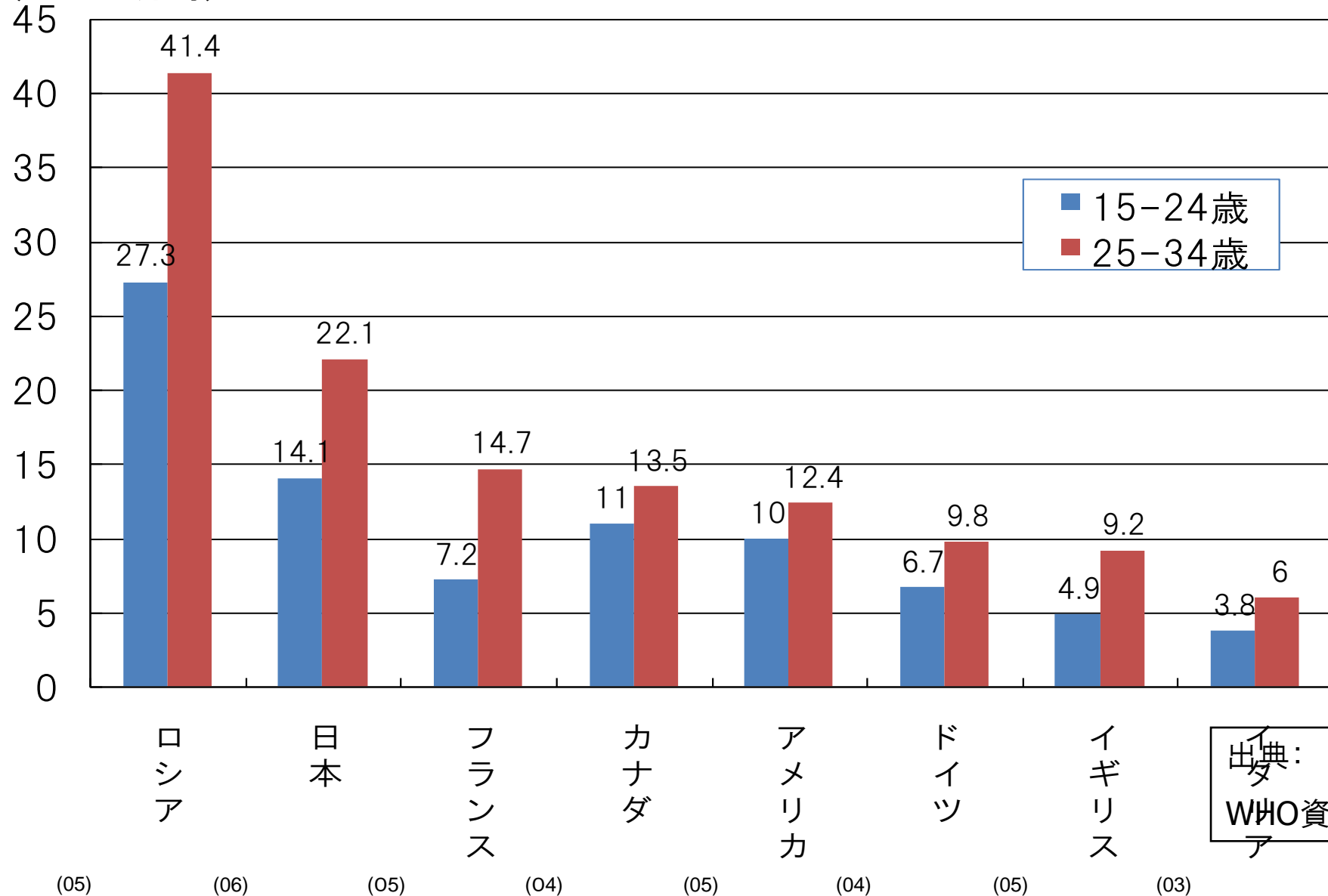


若年者自殺死亡率の国際比較

(人口10万対)



新たな地域精神保健医療体制の構築に向けた検討チーム

- 昨年9月の省内の有識者検討会の報告書などを踏まえ、今後の精神保健医療施策としての具体化を目指し、当事者・家族、医療関係者、地域での実践者、有識者の方々からご意見を伺うため、「新たな地域精神保健医療体制の構築に向けた検討チーム」を設置。
 - 平成22年5月31日からこれまでに4回開催
- ※ 当面、来年度予算編成での具体化を目指し、アウトリーチ体制の具体化など地域精神保健医療体制の整備に関する検討に重点を置く。認知症等の高齢精神障害者対策、精神病床のあり方等に関しては、医療・介護の改革と併せて今後継続して検討していく。

- 新垣 元 新垣病院 院長
- 岡崎 祐士 東京都立松沢病院 院長
- 小川 忍 (社) 日本看護協会 常任理事
- 河崎 建人 (社) 日本精神科病院協会 副会長 (水間病院院長)
- 佐久間 啓 あさかホスピタル 院長
- 田尾有樹子 社会福祉法人 巣立ち会 理事
- 高木 俊介 たかぎクリニック 院長
- 直嶋 京子 秋田県山本郡八峰町役場福祉保健課課長補佐
- 中島 豊爾 地方独立行政法人 岡山県精神医療センター 理事長
- 長野 敏宏 (NPO) ハートinハートなんぐん市場 理事
- 西田 淳志 (財)東京都医学研究機構 東京都精神医学総合研究所
- 野澤 和弘 毎日新聞社論説委員
- 野村 忠良 東京都精神障害者家族会連合会 会長
- 広田 和子 精神医療サバイバー
- 福田 正人 国立大学法人 群馬大学医学部 准教授
- 堀江 紀一 (NPO) 世田谷さくら会 理事

アウトリーチでの支援を行う主体

医療

- ・病院／診療所
（訪問看護、訪問診療）
- ・訪問看護ステーション

精神疾患の患者の支援に医療は不可欠。
病状と支援が直結。

福祉

- ・地域活動支援センター
- ・相談支援事業所
- ・障害福祉サービス事業所
（訪問型自立訓練など）
- ・「基幹相談支援センター」(案)

利用者に寄り添う生活支援ができる。

行政

- ・精神保健福祉センター
- ・保健所
（措置入院、訪問指導など）
- ・市町村（福祉サービスの利用支援など）

「支援を自ら求めることができない人」にも支援ができる。
（現在は措置入院などに対応）

アウトリーチでの支援に向けて

- 当事者や家族の抱える様々な課題の解決を、「入院」に頼らず、地域で生活することを前提とした支援体系へ
 - 医療面での支援に加え、早期支援・家族支援など生活面の支援を同時に行うための、多職種チームでの支援
 - 現存する人的資源を活用して地域で支援を行う人材として養成
 - 医療機関が病床を削減しながら、人員配置を地域精神保健医療に転換するよう促進
 - 地域移行・地域定着の促進のための住まいの整備

患者の精神医療体験を変えたい
そのためには、まず、フロントラインの医療従事者が変わる必要

by Louis Appleby, National Director for Mental Health
UK (2010年2月11日 都内での講演会で)

生きるための苦勞を増やす装置
べてるの家 川村先生(浦河赤十字病院)
(2010年2月27日 千葉県内での研修会で)

問題を起こさないように、病気を治すこと(症状を鎮めること)に熱心になりすぎてきた。そうではなくて、普通の人が普通に生活する際に経験するのと同じ悩みや苦勞をちゃんと経験できるようにすることが、本当の治療ではないか、という問題提起であると理解

まとめ

自殺対策には、
地道な地域精神保健活動こそ重要



ただし、本当に支援を必要とする人
は、支援を求めることもできない



支援は、本当に必要な人に
届いていますか？

- 一方で、こんな悩みも聞こえてきます
- 人も予算も足りない……
 - 援助者の方が燃え尽きそう……



自殺対策への関心を高めること

関心の高まりを、地域精神保健活動の
充実に活かせるように